

Perfume
Bottle
Masterpieces:
Messages and Expressions of Prayer



《香水瓶セット》(部分) CAVE A PARFUM フランス 1870年頃
マザー・オブ・パール、大理石、金属に金メッキ、透明ガラス 海の見える杜美術館所蔵

イベント情報

●講演会

講師=フランス 文化遺産学芸員 マルティーン・シャザル氏
日時=4月1日(日) 15:00 ~ 2時間程度(入場は14:30 ~)
会場=海の見える杜美術館 講堂
定員=先着500名様
聴講料=無料
事前申し込み=不要

●当館学芸員によるギャラリートーク

日時=4月28日(土)、5月26日(土)、6月30日(土) 13:30 ~ 30分程度
会場=海の見える杜美術館 展示室
聴講料=無料(入館料別途必要)
事前申し込み=不要

●ワークショップ

「オリジナル指輪付き香水瓶を作ろう」

19世紀、華やかな社交界で使用された指輪付き香水瓶。学芸員の解説を聞き実物を見た後で、自分のオリジナル指輪付き香水瓶を作りましょう。

日時=5月3日(木・祝) 13:30 ~ 1時間程度
会場=美術館多目的ルーム

集合場所=美術館受付

対象年齢=12歳以上

参加費=1,200円(材料実費、入館料別途必要)

定員=8名

お申し込み方法=お電話(0829-56-3221)にてワークショップ担当までお申し込みください。

先着順にて、定員に達し次第締め切らせていただきます。(締め切り:4月23日)

*下図のような本物の作品を参考に、自分だけの指輪付き香水瓶を作ってみましょう!



《指輪付き香水瓶》
PERFUME FLACON WITH RING
スイス 1820年頃 金、七宝
海の見える杜美術館所蔵

併設展示

竹内栖鳳展示室(新設)

知られざる竹内栖鳳
—初公開作品を中心に—

このたび新設する竹内栖鳳展示室の初回の展示として、初公開作品5点をはじめ、油絵作品《スエズ景色》などの名品、作品に関する資料類を展示いたします。当館の所蔵品によってのみ語られる、知られざる栖鳳像をご覧ください。

竹内栖鳳《涼蔭放牧》(初公開)
明治30年(1897) 第1回全国絵画共進会出品作品

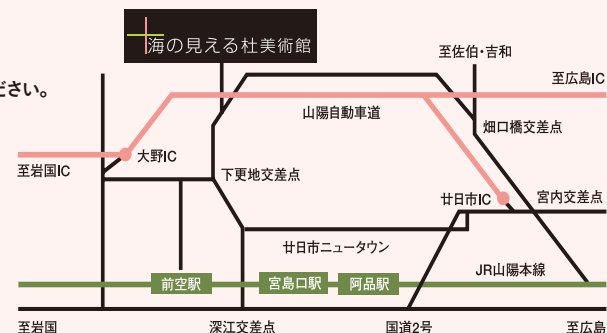


【アクセス情報】

JR山陽本線「宮島駅」または広島電鉄「広電宮島駅」からタクシーで約10分、または山陽自動車道「大野IC」から車で約10分。*詳細なアクセス情報はHPをご覧ください。

【タクシー来館特典】

タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館料無料。
*当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。



【お問い合わせ先】〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡701
TEL=0829-56-3221 E-mail=info@umam.jp http://www.umam.jp

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

海の見える杜美術館
リニューアルオープン記念特別展

香水瓶の至宝
—祈りとメッセージ—

Perfume
Bottle
Masterpieces:
Messages and Expressions of Prayer

2018年
3月17日(土) ~ 7月8日(日)

休館日=月曜日(ただし、4月30日<月・休>は開館)

開館時間=10:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)

入館料=一般 1,000円、高校生・大学生 500円、中学生以下無料

*障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。

*20名以上の団体は各200円引き。

*入館割引は一種類のみです。対象者は証明できるものをご提示ください。

主催=海の見える杜美術館

後援=在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、

エジプト大使館 文化・教育・科学局、広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

お問い合わせ=〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡701

TEL=0829-56-3221 E-mail=info@umam.jp http://www.umam.jp

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

《香水瓶》(部分) PERFUME FLACON オリーヴ・エ・ミリレ フランス 1860年頃 ブラッドストーン、ダイヤモンド、ルビー、真珠、金、七宝 海の見える杜美術館所蔵

時間と空間を超えて、今ここに。



Perfume Bottle 香水の至宝

祈りとメッセージ

Messages and Expressions of Prayer

Masterpieces:



1



2



4



5

◆1章 宗教から生活へ

—前30世紀～7世紀 地中海沿岸世界

古代エジプトにおいて、香りは信仰と強く結びついていました。日々の儀式の中で、香りを神に捧げることは重要なことでした。そして、死を迎えると、死後の世界を生きるために必要とされた特別な香りのついた聖油が用意されました。

古代エジプトからのメッセージ

1 《7つの聖油パレット》 SEVEN HOLY OILS TABLE
エジプト 古王国時代(第6王朝、前2320-2150年)
アラバスター

◆2章 自己顕示の象徴としての香水瓶

—17世紀ヨーロッパ社会

十字軍の遠征によって香料がヨーロッパにもたらされ、貴族たちは独自の香りを調合するようになりました。香水瓶にもそれに見合う凝ったデザインの容器が求められ、ガラス職人や金銀細工師などが技を競ってその要望に応えました。

フランス王家に愛された伝説のガラス職人

2 《香水瓶》 PERFUME FLACON
ベルナル・ペロ(1640-1709)
フランス、オルレアン 1680-1709年
青色ガラス、錫

◆3章 美の追求と様式化

—18世紀貴族社会

18世紀、貴族文化が成熟したヨーロッパでは、香水がその華やかさの一端を担いました。貴族たちの間で重要だった愛を表すモチーフや、植物の形をしたものなど、趣向を凝らした様々な形の香水瓶が、磁器やガラス、金属等で作られました。

愛のささやき

3 《双口セント・ボトル》 DOUBLE SCENT BOTTLE
イギリス、セント・ジェイムズ 1755年頃
軟質磁器、金

◆4章 宝飾美術への昇華

—19世紀憧れの社会

市民革命、産業革命を経て、社会は大きく変貌しました。新しい価値観を持つ香りの需要層のため、宝石がちりばめられた香水瓶が数多く作られました。なかでも、ロシア皇室御用達の宝飾商ファベルジェの扱う香水瓶は、羨望の的となりました。

知る人ぞ知るロシア皇室御用達宝飾商

4 《香水瓶》 PERFUME FLACON
ファベルジェ社
ロシア、サンクトペテルブルク 1895-1900年頃
水晶、サファイヤ、金
ギリシャ国王ゲオルギオス1世旧蔵

◆5章 香水産業の成熟と製品化された香りの芸術

—第二次世界大戦前

パカラ社やルネ・ラリック社などのガラス製造業者、続いてポール・ボワレやスキヤパレリといったファッション・デザイナーが香水瓶製作に積極的に携わるようになり、香水瓶デザインの世界がさらなる広がりを見せました。

新しい時代を呼ぶ、スキヤパレリ

5 香水瓶(ショッキング) SHOCKING FLACON
スキヤパレリ社 ショッキング、1937年
デザイン:レオノール・フィニおよびビエール・カマン、1937年
透明ガラス、彩色ガラス

ラリック好きのあなたも

6 香水瓶(アンフィトリート) AMPHYTRITE FLACON
ルネ・ラリック社
デザイン:ルネ・ラリック No. 514、1920年
製造:ルネ・ラリック社、鑄型No. 1410、1920-1937年 透明ガラス、茶色パチネ

7 香水瓶(いちずな願い) REQUÊTE FLACON
ウォルト社 いちずな願い、1944年
デザイン:マルク・ラリック、1944年5月10日
製造:ルネ・ラリック社、鑄型No. 3581、1945年頃
透明ガラス、七宝

◆6章 マスターピースとメッセージ

—想いと願い— 第二次世界大戦後

戦争による厳しい月日を経て、女性たちは優雅な女性らしさを取り戻したいと願っていました。ディオールなどのメゾンがそれに応え、優美なデザインの香水瓶を世に出しました。また、ひときわ高い技術で作られた限定版の香水瓶が、人々に憧れを与えるようになりました。

取り戻された優美さと、自国へのオマージュ

8 香水瓶(アンフォラ) AMPHORE FLACON
クリスチャン・ディオール社
ミス・ディオール、1947年
デザイン:フェルナン・ゲリ=コラ、1947年
製造:パカラ社、1947年頃
透明クリスタル、青色クリスタル、金

9 香水瓶(アンフォラ) AMPHORE FLACON
クリスチャン・ディオール社
ミス・ディオール、1947年
デザイン:フェルナン・ゲリ=コラ、1947年
製造:パカラ社、1947年頃
透明クリスタル、白色クリスタル、金

10 香水瓶(アンフォラ) AMPHORE FLACON
クリスチャン・ディオール社
ディオラマ、1948年
デザイン:フェルナン・ゲリ=コラ、1947年
製造:パカラ社、1948年頃
透明クリスタル、赤色クリスタル、金

*掲載作品はすべて海の見える杜美術館所蔵



5



6



7



8



9



10